

インフルエンザ情報 2013 年 第 4 週 (1 月 21 日 ~ 1 月 27 日)

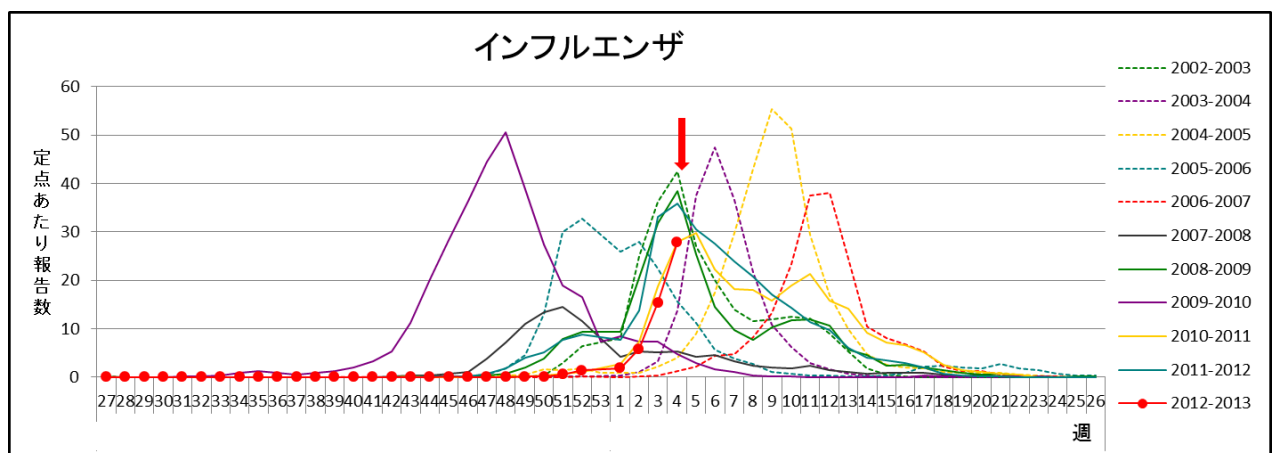
岡山県は「インフルエンザ注意報」発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 2,345 名 (定点あたり 15.37 → 27.92 人) の報告があり、さらに増加しました。
- 倉敷市、備中地域で発生レベル 3 になりました。
- 県内で発生したインフルエンザ患者 2 名から、インフルエンザウイルス AH3 型が検出されました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 117 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 12 名の報告がありました。

【第 5 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が、111 施設でありました。(1 月 28 日~1 月 31 日まで)
 - ▽岡山市 37 ▽倉敷市 28 ▽備前地域 14 ▽備中地域 16 ▽備北地域 6 ▽真庭地域 4 ▽美作地域 6



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 2,345 名 (定点あたり 15.37 → 27.92 人) の報告があり、前週よりさらに増加し、警報発令基準 (定点あたり 30.00 人) に近い報告数になりました (84 定点医療機関報告)。岡山県では「インフルエンザ注意報」を発令し、ひきつづき注意喚起を図っています。

地域別では、倉敷市 (23.44 → 39.25 人)、備中地域 (14.17 → 35.83 人) で定点あたり 30.00 人を越え、大きな流行が発生したと思われる発生レベル 3 になりました。また、岡山市、備前地域、美作地域、真庭地域、備北地域では定点あたり 10.00 人を越え、大きな流行が発生する可能性があるレベル 2 になるなど、県南部を中心に流行が拡大しています。

第 4 週の学校等の臨時休業は 117 施設から報告があり、前週の 39 施設から大幅に増加しました。第 5 週も報告がつづいていることから幼稚園児・小学生・中学生を中心とした感染の拡大が懸念されます。

インフルエンザは現在流行期に入っています。感染予防を心がけ、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは流行期に入っています。さらなる感染予防に努めて下さい。

【 手洗い・うがい 】

外から帰ったときには手洗い・うがいを心がけましょう。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

【 咳エチケット 】

インフルエンザは、インフルエンザにかかった人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを、鼻腔や気管など気道に吸入することによって感染します。インフルエンザが流行していますので、周囲の方々のためにも「咳エチケット」に心がけましょう。

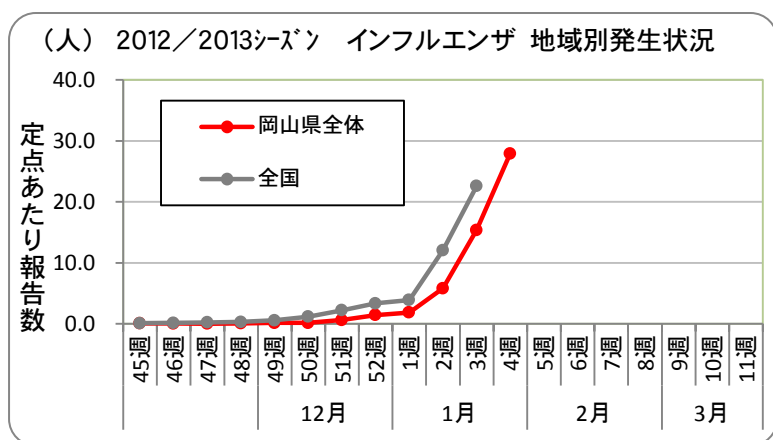
※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさにせきやくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみがつづく時はマスクを着用してください。鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにナイロン袋に入れて密封したり、ふた付きのゴミ箱に捨て、直ちに手を洗いましょう。

1. 地域別発生状況

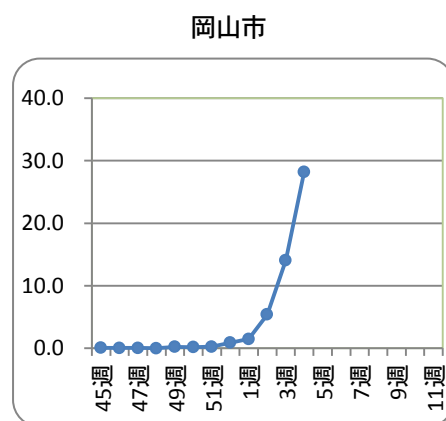
第4週 (1/21~1/27) 前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,345	▲	備 中	患者数	430	▲
	定点あたり	27.92			定点あたり	35.83	
岡山市	患者数	620	▲	備 北	患者数	81	▲
	定点あたり	28.18			定点あたり	13.50	
倉敷市	患者数	628	▲	真 庭	患者数	47	▲
	定点あたり	39.25			定点あたり	15.67	
備 前	患者数	369	▲	美 作	患者数	170	▲
	定点あたり	24.60			定点あたり	17.00	

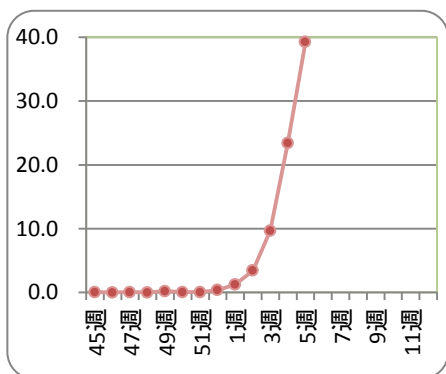
【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
 1.1~2倍未満の増加 ▲ 2倍以上の増加 ↑



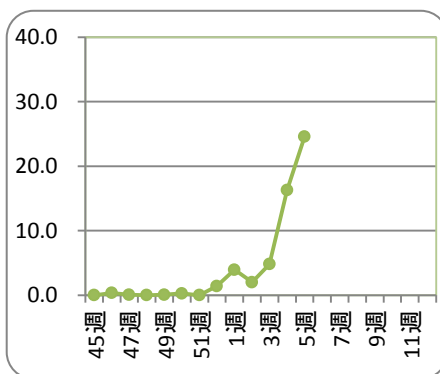
全国集計第3週(1/14~1/20)の定点あたり患者数は22.58人となり、前週(12.07人)よりも大きく増加しました。9県で警報レベル、残りの全ての都道府県で注意報レベルになっています。



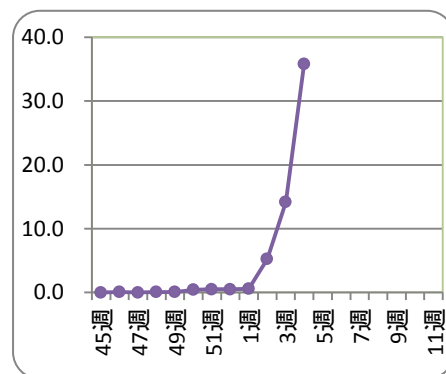
倉敷市



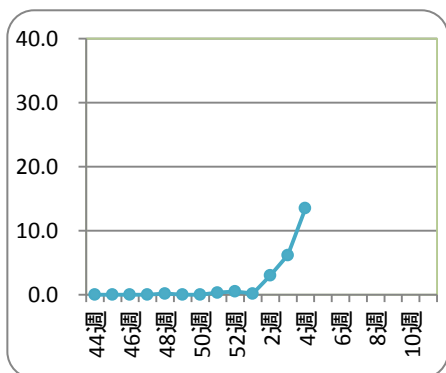
備前地域



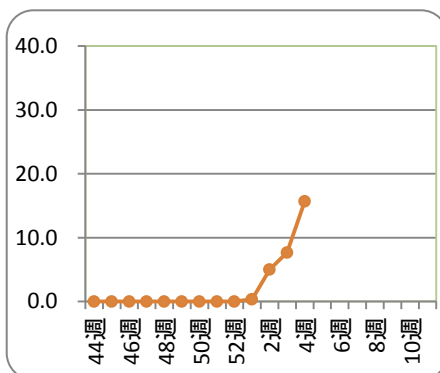
備中地域



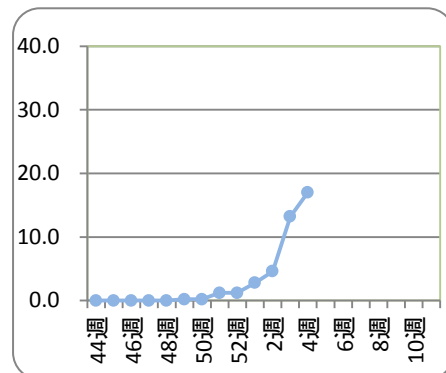
備北地域



真庭地域



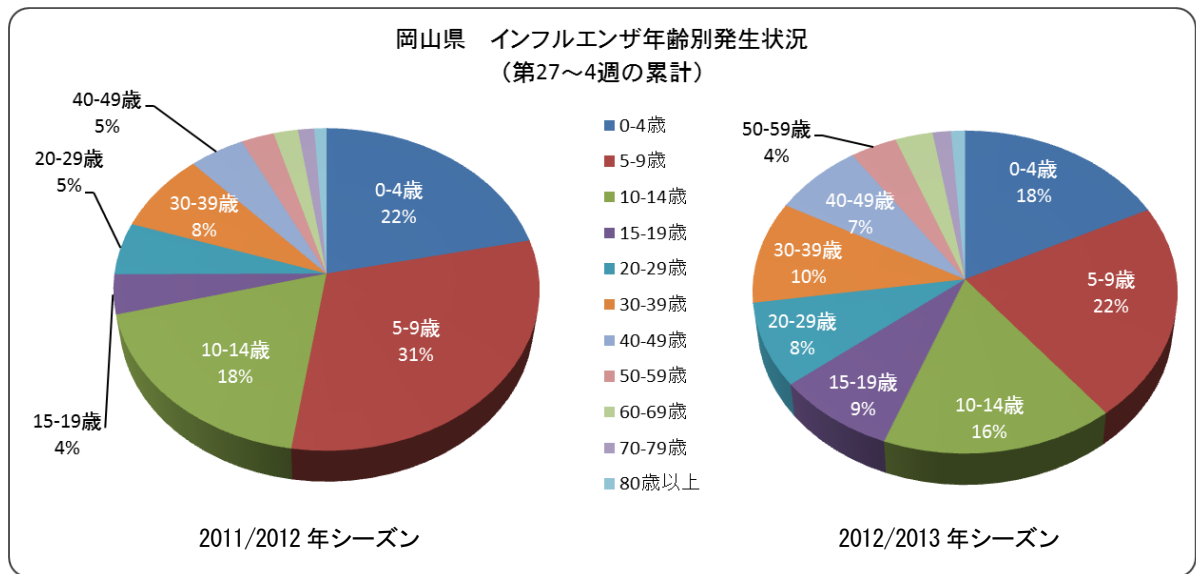
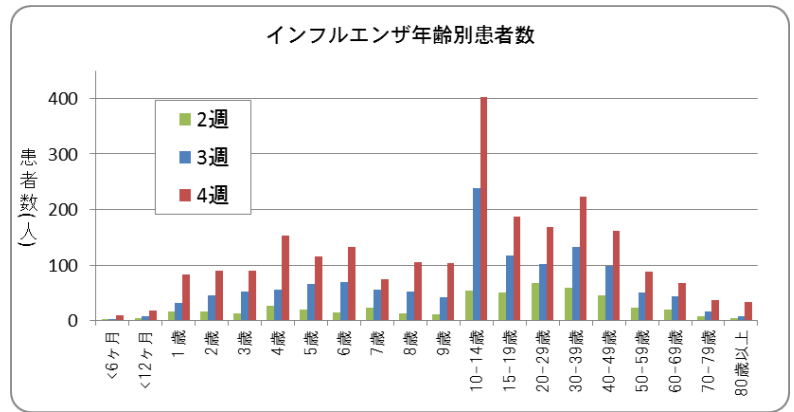
美作地域



2. 年齢別発生状況 第4週 (1/21~1/27)

15歳未満の幼児・幼稚園児・小学生・中学生に該当する年齢層が患者の56%を占めています。集団生活の中での感染に注意してください。

また、昨シーズンの同時期までの年齢割合に比べ、高校生・成人の割合が多くなっています。



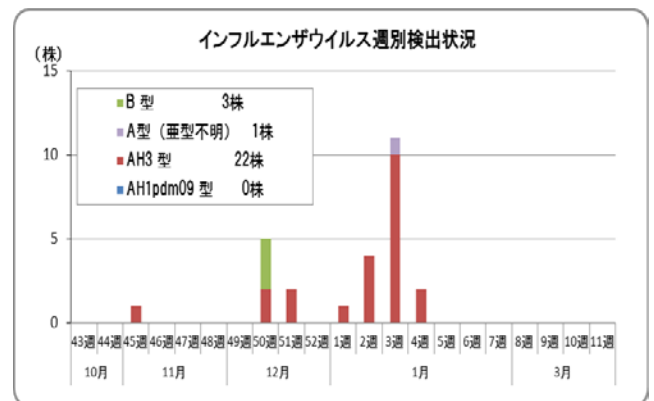
3. インフルエンザウイルス検出状況 第4週 (1/21~1/27)

第4週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、県内で発生したインフルエンザ患者2名からAH3型が検出されました。これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が22株、A型(亜型不明)が1株、B型が3株です。

検出されたウイルスの85%はAH3型ですが、簡易検査ではB型も検出されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがありますので注意が必要です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く90%、B型が7%、AH1pdm09型が3%の順になっており、昨シーズン同様AH3型が主流になっています。

[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症情報センター\)](#)



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3型	2013年第4週	2013年1月22日	倉敷市	小学生	女	集団発生事例
インフルエンザウイルス AH3型	2013年第4週	2013年1月22日	倉敷市	小学生	男	集団発生事例

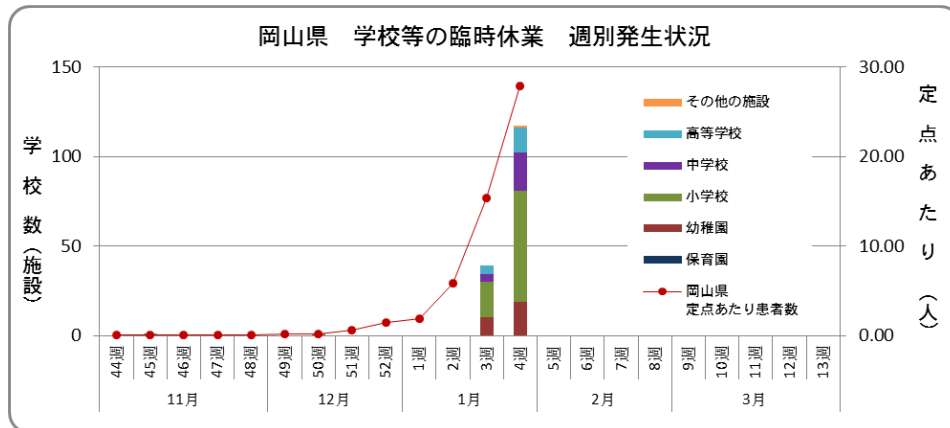
4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第4週（1/21～1/27）

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が117施設でありました。

備北地域、真庭地域では、今シーズン初めてとなる臨時休業の報告があり、県内全地域から臨時休業が報告され施設数も急増しています。

【第4週 臨時休業施設数】

▽岡山市 42 ▽倉敷市 23 ▽玉野市 6 ▽井原市 6 ▽総社市 5 ▽矢掛町 5 ▽新見市 4
 ▽瀬戸内市 4 ▽美作市 3 ▽備前市 3 ▽赤磐市 2 ▽和気町 2 ▽吉備中央町 2 ▽浅口市 2
 ▽高梁市 2 ▽津山市 2 ▽勝央町 1 ▽笠岡市 1 ▽早島町 1 ▽真庭市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第4週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	1669	2202	1272	1661	117	158	4	5	41	53	72	100	H 24. 11. 6
岡山市	675	893	496	657	42	56	0	0	8	10	34	46	H24. 11. 6
倉敷市	381	441	280	322	23	29	0	1	2	4	21	24	H25. 1. 15
備前地域	250	346	195	263	19	26	1	1	9	12	9	13	H25. 1. 15
備中地域	211	290	175	240	20	28	2	2	14	18	4	8	H24. 12. 12
備北地域	51	51	46	46	6	6	1	1	4	4	1	1	H25. 1. 21
真庭地域	16	16	16	16	1	1	0	0	1	1	0	0	H25. 1. 21
美作地域	85	165	64	117	6	12	0	0	3	4	3	8	H25. 1. 15

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳

第4週：117施設 累計：158施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	19	29	62	83	21	25	14	20	1	1

◆ 学校等の臨時休業が増加しています。

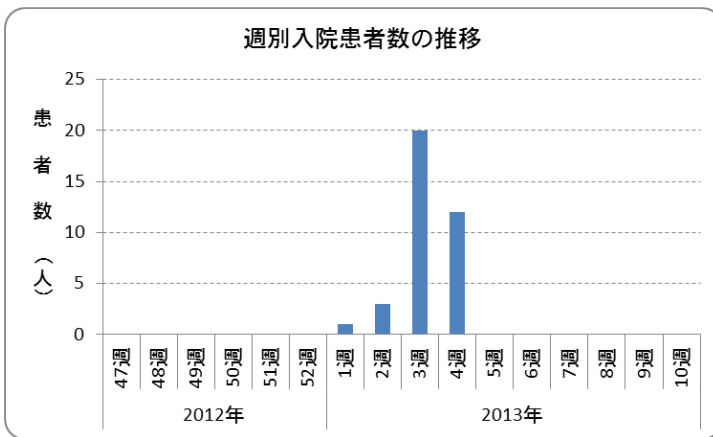
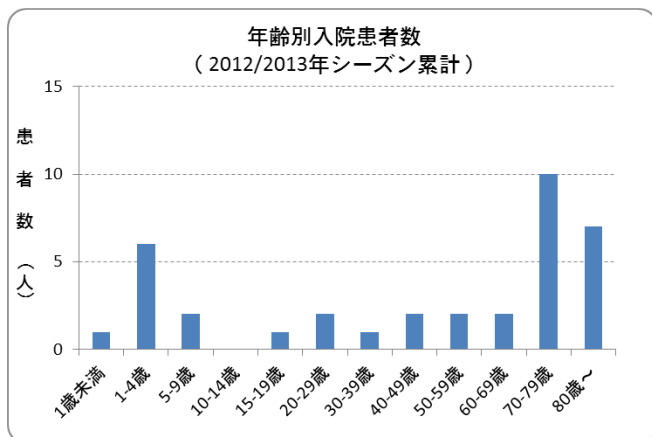
平成24年4月1日より、学校保健安全法施行規則が一部改正され、インフルエンザの出席停止期間が「解熱した後2日を経過するまで」から「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」に改正されました。水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

※ [学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について\(通知\)](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数 第4週（1/21～1/27）（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者 12 名（幼児 2 名、30 代 1 名、40 代 1 名、50 代 2 名、60 代 1 名、70 代 5 名）の報告がありました。10 歳以下の幼児、70 歳以上の高齢者で入院患者が増加しています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうととしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第4週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1	1				1	1	2	1	5		12
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用										1			1
頭部CT検査(予定含)		1									1		2
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず			1				1	1	2		4		9

* 重複あり

【平成24年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	6	2		1	2	1	2	2	2	10	7	36
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用										1			1
頭部CT検査(予定含)		2	1		1	1					1		6
頭部MRI検査(予定含)		1			1								2
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1	4	1			1	1	2	2	1	9	7	29

* 重複あり

